
JGN2の概要

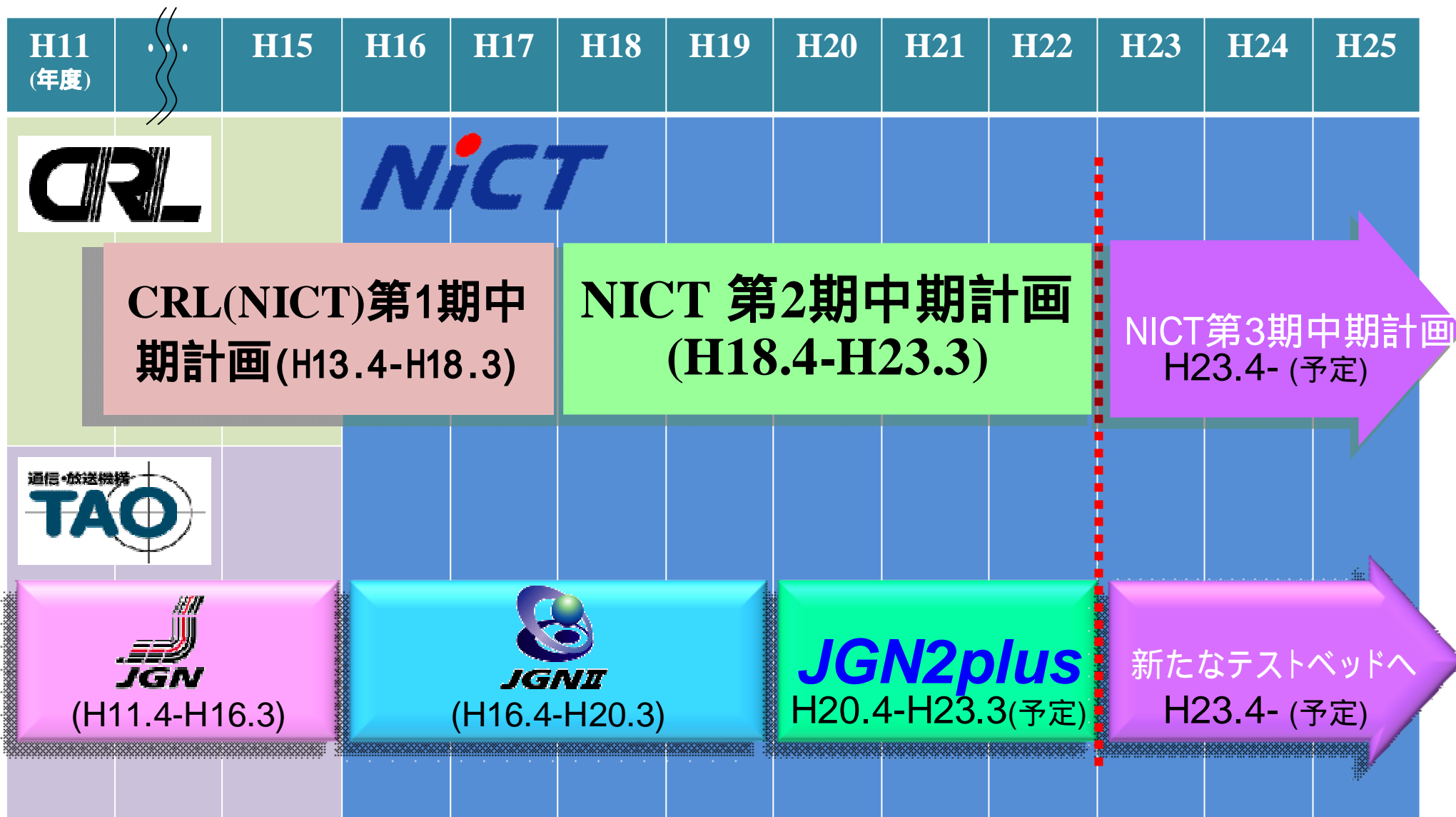
2008年1月17日

次世代高度ネットワーク推進会議 幹事会代表幹事

慶應義塾大学 教授

青山 友紀

JGN プロジェクトマイルストーン



JGN2について

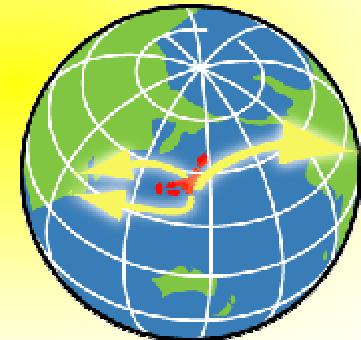
概要

平成16年4月より、超高速・高機能テストベッドネットワークJGN2を構築・運用し、これを活用した先端的なネットワーク関連技術、多様なアプリケーションの開発等を推進。JGN2の活動により、最先端の情報通信技術の研究開発、産・学・官・地域の連携、人材育成等に幅広く貢献。
(平成16年4月～平成20年3月)

特徴

- ・研究開発用のオープンなネットワーク
- ・全国64箇所のアクセスポイント(全都道府県)
- ・国際回線(米国、シンガポール、タイ)
- ・超高速(最大20Gbps)サービス
- ・イーサネット接続(L2)サービス
- ・IP接続(L3、IPv6)サービス
- ・光テストベッドサービス
- ・最先端光交換機(OXC)サービス

全国7箇所のリサーチセンター
における研究活動



将来のICT分野の研究開発・未来のICT社会を展望

JGN2ネットワーク構成

H20年1月現在



* IX:Internet eXchange AP:Access Point
PAP:Partnership Access Point

JGN2一般利用プロジェクトの概要

170件を超えるプロジェクト、600以上の研究機関、
1800人以上の研究者がJGN2を利用

JGN2を活用した研究開発プロジェクト（一般利用）：173件

（プロジェクト分類：複数カウント）

ネットワーク関連	91件
ミドルウェア関連	27件
アプリケーション関連	80件

参加研究者・研究機関

参加研究者数	1803人
参加研究機関数	606機関
・大学・高専	275機関
・企業等	171機関
・政府系研究機関・自治体	110機関
・海外研究機関	44機関
・その他（協議会など）	6機関

海外プロジェクト

海外プロジェクト数 23件

米国、タイ、シンガポールの研究機関の他、他のネットワークを經由して、欧州や東アジア地域の機関とも連携した研究開発を実施

（各プロジェクトの件数については申請書のタイトル・内容等からNICTにて集計した延べ数）

2004.4～2007.12